



令和3年4月21日

村岡・深沢地区のヘルスイノベーション最先端拠点形成等に向け3つの分科会により研究を推進  
～5者覚書に基づく取組状況について～

## 1 目的及び連携・協力事項

神奈川県、藤沢市、鎌倉市、湘南ヘルスイノベーションパーク及び湘南鎌倉総合病院の5者は、令和元年5月15日に、「村岡・深沢地区のヘルスイノベーション最先端拠点形成等に係る連携・協力に関する覚書」を取り交わしました。

### (目的)

神奈川県、藤沢市、鎌倉市、湘南ヘルスイノベーションパーク、湘南鎌倉総合病院の5者が連携・協力して、ヘルスイノベーションの最先端拠点形成等を推進することにより、持続可能な地域社会のリーディングエリアの構築を図るとともに健康寿命の延伸やヘルスケア分野の産業創出を図ることについて研究を進める。

### (連携・協力事項)

次に掲げる事項に係る研究

- (1)ヘルスイノベーションの最先端拠点形成
- (2)地域住民の心と体の健康増進、クオリティオブライフの向上
- (3)健康寿命の延伸やヘルスケア分野の産業創出 等

## 2 事務局会合による取組

毎月1回程度のペースで事務局会合を開催し、この地域において実現したい取組等について意見交換をしながら、ヘルスイノベーションの最先端拠点形成等の研究を進めてきました。

令和元年度：事務局会合10回(主な議題：ローカル5G敷設プロジェクト、スマートシティ等)

令和2年度：事務局会合11回(主な議題：AIホスピタル、ヘルスケアMaaS等)

(注)「MaaS」/ Mobility as a Service

### 3 具体的なアクションプラン等に係る研究の推進

令和2年7月からは、村岡・深沢地区に住むひと、働くひと、訪れるひとの誰もが、最先端の技術を享受しながら健康で安全・安心に過ごせることを目指して、次の3つの分科会により、具体的なアクションプランに係る研究を進めています。

#### 3つの分科会による具体的なアクションプランの研究

1 次世代健康管理分科会	2 ヘルスケアMaaS分科会	3 スポーツ振興分科会
<p><b>実現したいこと</b></p> <p>最新のテクノロジーやパーソナルデータを有効活用し、行き届いた健康管理ができる。</p>	<p><b>実現したいこと</b></p> <p>ヘルスケアを指向したシームレスな移動システムを構築し、人々の健康的な生活を支える。</p>	<p><b>実現したいこと</b></p> <p>運動やスポーツを通じて心も体も健康になる。</p>
<p><b>ア</b> 健康であることの価値が深く認識され、個人の行動変容によって、未病を改善することができる。</p> <p><b>イ</b> 慢性疾患においては、よりの確な自己管理により、医師とともに患者自らも主体的に疾病の治療に取り組むことができる。</p> <p><b>ウ</b> 感染症の疑いや救急搬送歴が有る方の異変時、急性疾患の発症時において、医療機関による診療に迅速・的確にアクセスでき、速やかな治療につなげることができる。</p>	<p><b>ア</b> 様々な活動とそのため移動を、誰もが自分に合った方法で行える。</p> <p><b>イ</b> 健康増進に資する情報・サービスが一体的に提供されることで、歩くことや、走ることが快適になる。</p> <p><b>ウ</b> 非常時においても、健康の維持と回復に必要な移動サービスを無理なく享受できる。</p> <p><b>エ</b> 人々の行動が先端技術によって支援されることで、災害や大規模な感染症に対して強くなる。</p>	<p><b>ア</b> 運動やスポーツに親しみやすいまちで、運動やスポーツを日常生活に取り入れることで、誰もが心も体も健康になる。</p> <p><b>イ</b> 居心地がよいウォーカブルなまちなみのなかで、歩くことから始める健康づくりをサポートする。</p> <p><b>ウ</b> 産学医公民が連携して、様々なステークホルダーの参画のもと、スポーツ科学のテクノロジーを共有し、運動やスポーツを通じたコミュニティの形成、健康の維持・向上に取り組んでいる。</p>

### 4 今後について

ヘルスイノベーションの最先端拠点形成等を推進するために、3つの分科会による研究を進め、その研究成果を地域住民の心と体の健康増進、ヘルスケア分野の産業創出等につなげていきたいと考えています。

#### 村岡・深沢地区のヘルスイノベーション最先端拠点地図

